

健診結果からCKDを見逃さないために

この度、信州大学医学部附属病院腎臓内科・上條祐司先生からのご依頼を受け、CKD（慢性腎臓病）に関する注意喚起と再評価の重要性について、情報を周知させていただきます。

特定健診や企業の健康診断において、CKDが疑われる受診者が確認された場合には、かかりつけ医の先生方に、**eGFRと蛋白尿の再評価**をお願いしております。**蛋白尿の評価は、リスクの把握や治療効果の判定において非常に重要**ですが、実施率が低いことが現状の課題となっています。また、**多くのCKD患者が見過ごされている可能性が指摘**されています。再評価に際しては、以下の検査方法が推奨されます：

- 早期の糖尿病関連腎臓病の場合：
蓄尿によるアルブミン定量または随時尿による**尿アルブミン/クレアチニン比**
- その他の腎臓病（顕性アルブミン尿を伴う糖尿病関連腎臓病を含む）の場合：
蓄尿による尿蛋白定量または**尿蛋白/クレアチニン比**

当センターでは、これらの評価をスムーズに行える体制を整えております。もし尿蛋白定量検査が難しい場合には、試験紙法による再評価をご検討ください。

検査結果に基づき、松本市糖尿病性腎症・CKD病診連携基準に従い、腎臓専門医や専門医療機関へのご紹介をお願い申し上げます。

**慢性腎臓病や糖尿病診療において
検尿・蛋白尿測定は必須です！**

蛋白尿の重要性

- ①原疾患評価・・・特殊な腎臓病(腎炎など)との鑑別に有用です！
- ②末期腎不全や心血管病のリスク判定・・・ハイリスク群が分かります！
- ③治療反応性評価・・・有効な治療をしているかが分かります！
- ④治療強化の必要性判定・・・治療を強化すべきかが分かります！
- ⑤治療方針の策定に必要・・・蛋白尿の有無で投薬内容が変わります！

病診連携対象者は腎臓病専門施設へご紹介ください。

松本市糖尿病性腎症・CKD病診連携紹介基準(検査別)

eGFR値による紹介基準

- ①慢性腎臓病 **eGFR < 45** (70歳以上 < 40) **ml/min/1.73m²**
- ②糖尿病性腎臓病 **eGFR < 60** (70歳以上 < 50) **ml/min/1.73m²**
- ③経過中に**30%以上**の**eGFR低下**を認める場合

蛋白尿による紹介基準

- ①検尿で **尿蛋白 ≥ (1+)**
- ②尿蛋白/尿中クレアチニン比 **≥ 0.5 g/gCr**
- ③微量アルブミン尿(糖尿病性腎臓病) **≥ 30 mg/gCr**
- ④**蛋白尿と血尿**がともに陽性

患者さんの検査値が**1つでも該当する場合には、腎臓病専門施設と連携**

かかりつけ医



腎臓病専門施設

検査依頼方法の変更について

今回、CKD 再評価をより円滑に進めるため、当センターでは検査依頼方法を以下のように変更いたしました。具体的な項目および手順については以下をご確認ください。

尿蛋白/クレアチニン比

尿蛋白/クレアチニン比は、「尿クレアチニン」と「尿蛋白定量」の結果を用いて計算します。

【依頼方法】

現在お手元にある総合検査依頼書では、追加項目欄に「尿蛋白/クレアチニン比」とご記入いただき、ご依頼ください。次回の依頼書発注分からは、あらかじめ「尿蛋白/クレアチニン比」が印字された依頼書をお届けいたします。

【注意事項】

尿クレアチニンと尿蛋白定量の両方をご依頼いただいた場合は、特にご指定がなくても尿蛋白/クレアチニン比を合わせてご報告いたします。

eGFR

11月7日受付分より、血清クレアチニンのご依頼があった場合、eGFR もあわせてご報告いたします。ただし、**年齢**および**性別**の記載がない場合には、eGFR の算出ができないため、ご報告することができません。

【計算式】

男性： $194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287}$

女性： $194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287} \times 0.739$

※18歳以下は参考値となります。

検査項目名	尿一般定性	尿クレアチン	尿蛋白定量	尿アルブミン定量定量 (クレアチン換算値)
検体量	尿 10mL	尿 1.0mL	尿 1.0mL	尿 1.0mL
検査方法	試験紙法	酵素法	ヒコカロールレット法	免疫比濁法
所要日数	1日			2～4日
検査実施料	26点 ^{※1}	11点	7点	99点 ^{※2}

※1 院内で実施した場合のみ算定が可能です。

※2 糖尿病または糖尿病性早期腎症で微量アルブミン尿が疑われる患者（糖尿病性腎症の第1期または第2期に限る）に対して実施した場合に、3か月に1回のみ算定可能です。